

## 平成25年度 第2回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成25年6月4日（火） 10：00～17：15

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子（(独)労働者健康福祉機構関西労災病院  
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）

尾崎 博（国立大学法人東京大学農学部教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会 品質保証本部安全政策推進室室長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

品川 邦汎（岩手大学特任教授）

三森 国敏（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

その他、事務局から姫田事務局長ほか11名が出席

4 議題

（1）平成24年度終了研究課題（課題番号：1005、1008、1105、1107）の事後評価（ヒアリング審査）について

（2）平成25年度追加公募研究課題の事前評価（ヒアリング）審査について

（3）平成26年度食品健康影響評価技術研究の対象領域について

（4）食品安全確保総合調査の評価に関する指針（案）について

5 議事概要

（1）平成24年度終了研究課題（課題番号：1005、1008、1105、1107）の事後評価（ヒアリング審査）について

平成24年度で終了した研究課題（11課題）のうち、平成25年5月24日の第1回調査・研究企画会議においてヒアリング審査を実施した7課題を除く次の4課題の研究成果について、当該研究課題の主任研究者からヒアリング審査を実施した。

①1005：食品中ナノマテリアルの腸管吸収及び体内動態の特性を利用したリスク評価手法の開発（堤康央（代理：吉岡靖雄） 大阪大学）

②1008：ナノ物質の経口暴露による免疫系への影響評価手法の開発（蜂須賀暁子 国立医薬品食品衛生研究所）

③1105：日本における農薬等の急性参照用量設定のためのガイダンス作成に関する研究（吉田緑 国立医薬品食品衛生研究所）

④1107：胎児移行性における種差を反映したヒト胎児毒性リスク評価手法の開発（登美齊俊 慶應義塾大学）

今後、終了11課題の審査結果を事務局でとりまとめ、次回の調査・研究企画会議にて了承が得られた後、食品安全委員会に報告することとなった。

また、11課題のうちの4課題を、平成25年8月に開催予定の研究成果発表会の発表課題として決定することが承認された。

（2）平成25年度追加公募研究課題の事前評価（ヒアリング）審査について

平成25年5月24日の第1回調査・研究企画会議においてヒアリング審査対象として選定された3課題について、当該研究課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。今後、これら3課題の審査結果を事務局でとりまとめ、次回の調査・研究企画会議において、採択課題、予算配分額等について審議し、了承が得られた後、食品安全委員会に報告することとなった。

（3）平成26年度食品健康影響評価技術研究の対象領域について

平成26年度において優先して実施すべき食品安全確保総合調査及び食品健康影響評価技術研究の課題（事務局作成案）について検討し、各委員からの意見を踏まえた修正案について、次回の調査・研究企画会議において審議し、了承が得られた後、食品安全委員会に報告することとなった。

（4）食品安全確保総合調査の評価に関する指針（案）について

事務局から、調査・研究企画調整会議の改組の際に、調査事業について事後評価を実施するよう関係規程を改正した旨説明し、事務局作成の評価指針（案）に基づいて評価することが了承された。今後、同指針に基づき平成24年度に実施した調査事業の評価案を事務局において作成し、これに各委員の評価コメントを付した上で、次回の調査・研究企画会議において審議、了承が得られた後、食品安全委員会に報告することとなった。

—以上—

（注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）